

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	からだと疾病実習Ⅰ						授業形態		実習	
科目コード	307300	単位数	1単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山口 昌俊								ICT活 用	○
授業概要	本実習の目的は解剖生理学の知識を定着させる事と、医療機関で行われる検査を理解する事。 からだと疾病Ⅰ、Ⅱの座学では教科書やプリントで解剖学や生理学を勉強したが、臓器は立体的なもので教科書やプリントでは理解しにくい部分がある。人体図や組織図を使うことによって理解を深めてもらいたいと考えている。自分の血液を顕微鏡で見て実際に体験する事により、検査の目的や結果の評価の仕方を学んでもらう。 実習で学んだ知識が医療現場でどのように役立つかを、病院での実務経験のある教員による説明を受けながら実習を行っていく。 実習の資料を毎回ユニバで配信する予定である。 理解度を確認するために適宜小テストを行う。									
関連する科目	本授業の履修前に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅰ・Ⅱ 本授業の履修後に受講することが望ましい科目：からだと疾病実習Ⅱ、臨床医学Ⅱ、臨床栄養学Ⅰ～Ⅳ									
授業の進め方 と方法	2, 4, 5, 7, 8, 12, 13, 15回：それぞれの臓器に関して、模型・顕微鏡のスケッチを行い、関連する疾患について調べ、国試問題を解答・解説する流れで学習していく。 3, 6回：実験方法を理解し、実験を行い、結果を考察する。 9, 10, 11回：与えられた課題について、グループでまとめて討議し、発表を行う。（病院で勤務する糖尿病教室などを担当する事が多いのでその練習として行う） 14回：実際の患者さんの血液検査データをみて疾患を推測する練習を行う。									
授業計画 【第1回】	1. 実習の注意 血液の扱い方、守秘義務について理解する。									
授業計画 【第2回】	2. 骨 骨についての解剖生理、骨粗鬆症、骨軟化症について学ぶ。									
授業計画 【第3回】	3. 末梢血液 血液を指先より1滴穿刺し、顕微鏡で観察する。									
授業計画 【第4回】	4. 循環器 循環器の解剖生理、狭心症、心筋梗塞について学ぶ。									
授業計画 【第5回】	5. 消化管について 消化器の解剖生理、潰瘍性大腸炎、クローン病を学ぶ。									
授業計画 【第6回】	6. 浸透圧実験 浸透圧の異常によって、赤血球が破壊される様子を学習する。									
授業計画 【第7回】	7. 免疫について 自然免疫、獲得免疫、アレルギーについて学ぶ。									
授業計画 【第8回】	8. 内分泌（ホルモン）について ホルモンの名前、働き、ホルモン異常により引き起こされる疾患について学ぶ。									
授業計画 【第9回】	9. 発表授業の準備 与えられた課題を調べ、パワーポイントを作成する。									
授業計画 【第10回】	10. 発表授業（1） 各クラスの半分の学生に発表してもらう。 残った時間で、指先から1滴血液を取り、血糖測定を行う。（半分の学生）									

授業計画 【第11回】	1 1. 発表授業（2） 各クラスの残り半分の学生に発表してもらう。 残った時間で、指先から1滴血液を取り、血糖測定を行う。（半分の学生）
授業計画 【第12回】	1 2. 神経系について 神経系の解剖生理を学ぶ。
授業計画 【第13回】	1 3. 呼吸器系について 呼吸器系の解剖生理、換気障害について学ぶ。
授業計画 【第14回】	1 4. 生化学検査の演習 疾患を有する患者の血液検査データより病名を推定する。
授業計画 【第15回】	1 5. まとめ 半年間の実習のまとめ。課題の解説。小テストおよびその解説。
授業の到達目標	それぞれの臓器について解剖生理学、病理学が理解出来る。【知識・理解の獲得】 理解した内容を、病気の診断に応用できるようにする。【知識・理解の深化】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	【予習】次の授業内容について教科書、1年生のプリント、実習のプリントを読んで来ること。（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	【復習】その日に実習で勉強した内容を教科書やプリントを見て確認すること。（1時間程度）
課題に対する フィードバック	スケッチを確認後返却します。
評価方法・基準	最終日の試験と小テストで評価するが、受験資格として6回以上出席している必要がある（規定に基づく）。
テキスト	臨床検査ハンドブック 医歯薬出版
参考書	はじめての解剖生理学 一講義と実習一 金澤寛明 著 （南江堂） 生体のしくみ 標準テキスト 第3番 新しい解剖生理 高松研、堀内ふき 著 （医学映像教育センター）
備考	